



①正福寺
天台宗、日吉金蔵寺末寺
鎌倉時代創建、本尊釈迦如来
座像、北川谷戸出身の絵師
猿渡北泉の墓がある。



⑤宮ノ下の長石段は 150 段以上あり、一連石段としては港北区都筑区の中でも最長の部類



②御霊堂跡
鎌倉権五郎影政が後三年の役（1087）後、鎌倉に帰還途中当地で死亡した。伝承に基づき宮田越後が 1336 年建立、御霊信仰は関東平家五氏、梶原、長尾大庭、村岡、鎌倉の霊を祀った神社で五霊から転じて御霊神社となった。



⑥浄流寺
真誉（1598 寂）開山の浄土宗寺院
小机泉谷寺末、都筑橘樹十二薬師霊場 2 番、本尊は阿弥陀如来



③新吉田杉山神社
主祭神は五十猛尊、素戔鳴尊、鎌倉権五郎、式内社に比定される。神宝や由緒は別当の正福寺が保管していたが天明 2 年の火災で焼失との伝承が残る。



⑦常真寺
天文 5 年（1536）池上本門寺台 9 世東照院日純上人開山の日蓮宗寺院。敷地は 2400 坪、農地解放以前の寺領は数万坪（同寺 HP）



④若雷神社
祭神は別雷（わけいかずち）の命。9 世紀清和天皇の時代に上賀茂神社より分祀を賜る。敷地内に末社として山城の国吉田より春日大明神吉田神社を勧請したことが地名「吉田」の起原と伝わる。古くから社地下一帯を宮ノ下といい、付近を宮ノ原と称した。



⑧新羽杉山神社
新羽郷の総鎮守、創建年代は不詳ながら当地周辺が「上古根古屋の庄荷場の郷」と呼ばれていた時代より鎮座、西方寺の持。祭神は日本武尊
境内に島村文耕（島村抱月の養父）の石碑が残る。

（山本海苔店より寄進の狛犬）



山本海苔二代目の徳治郎は新吉田出生で山本家に養子に入り安政 5 年に家督を相続して家運を高めた。千葉周作道場の門下生となり山岡鉄舟とも交わった。その縁で明治天皇の京都市幸土産として味付け海苔を考案。本殿内には鉄舟の揮毫が残る。



⑨西方寺
奈良東大寺別当の勝賢僧正が 1190 年に鎌倉笹目ヶ谷に創建、極楽寺に移転したが極楽寺衰微に伴い 1495 年に当地へ移転と伝わる。古義真言宗寺院。
本尊の阿弥陀如来坐像は平安時代後期の作で県指定重要文化財。「西方寺の黒本尊」と呼ばれる。